



CS オール丹那

函南町立丹那小学校
令和4年5月発行

令和4年度 第1回 CSオール丹那会議を実施

5月12日（水）18:00より本校ランチルームにて、CSオール丹那会議を開催しました。新たに4名の委員を迎え活発な話し合いが行われました。校長から学校経営方針、教務主任から教育課程について、教頭から小規模特認校制度に向けての経過と今後の予定について説明させていただきました。



令和4年度 CSオール丹那会議委員（◎は、新規委員）※敬称略

役職・肩書	お名前	役職・肩書	お名前
CS 会長・長光寺住職	柿沼 忍昭	丹那幼稚園園長	岡本 眞澄
CS 副会長・R2PTA 会長	仲川 裕樹	元 PTA 会長・野菜作り講師	神尾 尚宏
R3PTA 会長・函南東部農協青年部	内田 利光	丹那駐在所員	◎石津川龍也
R4PTA 会長	◎中野 俊幸	地域学校協働活動推進委員	山田 正彦
R4 丹那区長	◎溝田 正吾	校長	土屋 貴俊
R4 丹那地区区長会長・畑区長	◎岩城 隆徳	教頭	濱田 晃治
読み聞かせ・クラブ講師	西村 知世	教務主任	下山 祐二
元小学校教諭	渡邊 久美子	事務主査	山崎 和広

【CS（コミュニティ・スクール）とは？】

学校運営協議会を設置した学校のことです。学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供たちの成長を支えていく学校づくりを進めていくことをねらいとしています。

【学校運営協議会とは？】

学校の教育目標・ビジョンを共有するとともに、法律（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5）に基づき一定の権限と責任を有する合議制の機関です。保護者・地域の声を学校運営に生かし、「地域とともにある学校づくり」の核となる組織です。

【どんな権限があるの？】

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認します。
- ・学校運営について、校長または教育委員会に意見を述べるすることができます。

【どんな責任があるの？】

- ・地域の住民・在籍する児童生徒・保護者その他関係者に学校運営の方針を理解していただくために、積極的に情報を提供するよう努めます。

【話し合いで話題になった事項】

丹那地域の活性化に向けて、小規模特認校制度を絡めてどう取り組むか議論されました。

- 1 小規模校特認校制度の目的を、複式学級にならないようにすることのようにとらえている方もいるが、本来の目的は学区の枠を外して児童が通うことができるので、少人数のよさを生かしながら特色ある教育活動を推進し、児童数が増えることを通して、子供たちの教育環境をよりよいものに整えていくことにある。そして、この活動は、学校を核とした丹那地域の活性化にもつながっていくものと言える。また、町内の大きな学校から丹那を気に入っていただけて来てもらうことも大変ありがたいことだが、空き家が何軒もあるのでそういうところに都会から引っ越してくる方も増やしていけるようにしたらどうか。
- 2 「複式学級＝悪」のようにとらえている方もいるが、けっしてそうとは言えない。複式学級の学校でもりっぱに教育し、子供たちをしっかりと育て魅力のある学校づくりをしている学校もたくさんある。
- 3 丹那地域の核としての学校であってほしい。学校の存在によって子供からお年寄りまでがつながれるようにしていくことが大切。
- 4 「猫踊り」は、丹那が発祥である。ご神体も長光寺にあるので、猫踊りをとおして丹那地域を元気づけることはできないか。昨年度、休日に長光寺にて猫踊りの催しを行った。丹那小学校の子供にもたくさん参加してもらい、大変盛り上がった。そのような縁で猫踊り実行委員会さんからも猫踊りの指導を子供にしてもよいと言っている。今年の運動会の午後の部は、地域の方も参加できるものになると聞いているが、この機会にみんなで猫踊りを踊ることはできないか。
- 5 小規模校特認校制度について
 - (1) 大筋の概要やきまりごとなどは、決まっているのか。

対象学年や通学方法など細かい約束ごとを今決めているところである。正式には、7月の定例教育委員会で決まってくることになっている。「広報かんなみ」8月号にて町民に周知する予定となっている。

 - ・大きな学校にいる子供が大集団に馴染めず、途中からでも転入できるようにしてもらいたい。逆のことも考えられるかもしれない。
 - ・募集期間をなるべく長くとっていただきたい。悩まれる方も多いと思うので可能ならば翌年の2月頃までお願いしたい。
 - (2) 「広報かんなみ」も全町民が読むとは限らないので、もっといろいろな広報の仕方を考えるべきである。
 - ・許可していただけるなら SNS を使って拡散していくのが最も周知されると思う。
 - ・幼稚園、保育園、他の小学校へ説明に行き、協力していただくことも必要。
 - ・「広報かんなみ」を使うなら、表紙に載せて欲しい。誰もが注目する。
 - ・町のホームページも活用して広報していく予定である。
 - ・子供たちが丹那の魅力について総合的な学習の時間等で、タブレット PC を使い映像等をつくっていくことを計画している。それを学校のホームページから発信する予定である。